

キシラデコールと

# 安全

設計者に聞く、木質建築での保護塗料の活用方法

4

## 安全性に信頼を置いて幼稚園で仕上げに用いる

子どもが一日を過ごすことになる幼稚園の園舎では、柔らかさと温かさを併せ持つ木材が肌に触れる仕上げ材としてよく使われる。問題は塗装をどうするか。「シックスクール」の問題も取りざたされるようになったいま、とりわけ室内に関しては安全性に配慮せざるを得ない。福岡市内にある清星幼稚園では、こうした安全性への気遣いから、室内外ともに塗装にはキシラデコールシリーズを用いている。設計者の清原昌洋氏に考えを聞いた。

北園舎の東側外観。正面に見える渡り廊下で左手に続く南園舎につながる。外壁仕上げは、スギのキシラデコール塗装。色は「エボニ」

(写真：橋本 征観)

名称 ● 清星幼稚園北園舎 所在地 ● 福岡市南区三宅1丁目 用途 ● 幼稚園 建築主 ● 学校法人清原学園 敷地面積 ● 3119.73㎡ 建築面積 ● 686.27㎡ 延べ床面積 ● 715.08㎡ 構造・階数 ● RC造、一部SRC造、一部S造・地上2階建て 竣工 ● 2004年11月 設計 ● atelier cube一級建築士事務所 施工 ● 斉藤工務店



多目的室から中庭の外廊下部分を見る。外廊下の両脇に見えるのが、保育室。多目的室の天井高さを3.8m確保したのに対して保育室の天井高さを2.25mと抑え気味にすることで、空間にメリハリをつけた。多目的室も保育室も床・壁・天井の材はキシラデコールインテリアで仕上げた。木材が乾燥して材と材との間にすき間が生じたとき、塗装しているとこまめに塗り替えないとすき間の埃があらわになるのを避ける狙いで、材を取り付ける前に塗装を施している

どのような考え方で設計を進めたのですか。

清原 ● 周辺は戸建ての住宅地ですが、建て替え前の園舎が建ったころは水田が広がっていました。敷地の西側には、「里道(りどう)」と呼ぶ、あぜ道の名残りの、幅の狭い道がいまでも見られます。田園地帯の面影を残すこの里道を、新しく建てる園舎ではモチーフにしようと考えました。

基本は、中庭型の建物です。具体的には、建物の中央を貫く中庭に当たる外廊下と、建物の周囲をぐるっと回る内廊下で構成しています。そうした道の残りを、保育室と多目的室に充てて

います。里道を歩いていると、脇に家の玄関が現れたりします。そうした道と建物との関係を、廊下と保育室・多目的室との関係に投影しています。

内と外の境界をあいまいにしたいとも思いました。保育室の周囲三方には、ポリカーボネートをはめ込んだ引き戸を巡らせています。これを開け放つと、保育室の中に入れても、そこが中なのか外なのか、わかりにくくなるような、入り組んだ造りです。

仕上げで木材を用いたのは、幼稚園側の要望もあつたし、自分でも、風合い、優しさ、安心感の観点から、木材を用いるのがいいと、考えたからで

す。材種は、スギ、カラマツ、ヒノキなどの選択肢の中から、コストと触り心地の点でスギを選びました。

塗装には、室内外ともにキシラデコールシリーズを用いています。

清原 ● 塗料に関しては、幼稚園という用途もあり、直接肌に触れるだけに安全性を重視しました。そのうえで、スギの柔らかさや温かさ、木目の風合いをそのまま表現できるものを考えました。

室外はやはり、耐候性を必要とする点もあって、これまでも使ってきたキシラデコールに安心感があります。生まれ育った実家でも、外壁の塗装にキシラデコールを用いて、結構、頻繁に塗り替えています。これまで何の問題も生じていません。

安全性では、室外用のキシラデコールはホルムアルデヒド、トルエンといったシックハウス症候群の原因と言われている物質が使用されていない点です。成分はすべて安全性に配慮されていることが安心して使っている理由です。

室内の塗装では、安全性の高さが一段と求められます。

清原 ● 室内の塗装で用いたキシラデコールインテリアは、ドイツの玩具安全基準に適合しているとのこと。子どもに影響を及ぼすような有害な重金属を使っていないということです。この点で、大きな安心感を得ることができました。

しかも、ホルムアルデヒドの放散量による等級区分表示では「F☆☆☆☆」を取得しています。塗料の場合、等級区分には、国土交通大臣認定のものと業界団体の自主規制のものがあります。キシラデコールインテリアは、第三者機関で試験する国土交通大臣認定なので、一段と信頼が置けます。

自然塗料との間で選択を迷った時期もありました。壁や天井に用いた格子のモノコックを作って、キシラデコールインテリア、2種類の自然塗料、計3種類の塗料を塗った場合と、無塗装の場合とを、それぞれ比較して、光の反



木とともに生きる。【キシラデコール】

**XYLADECOR**

おかげさまで35周年



清原 昌洋氏

きよはら ますひろ。1972年岐阜県各務原市生まれ。95年日本大学理工学部海洋建築工学科卒業。2000年 atelier cube一級建築士事務所設立。個人住宅を中心に、設計・監理に携わる。

射の仕方を確認したりもしました。結果的には、その時、仕上がり感に優れていると感じたキシラデコールインテリアを採用することに決めました。

幼稚園の子どもたちの様子はいかがですか。

清原 ● 年少から年長まで3学年で200人くらいの幼児がいます。いろいろな子どもがいて、何をしでかすかわからないだけに、安全性には念を入れて良かった、と思います。

うれしかったのは、子どもたちが新しい園舎に入るなり、まわりの様子を見るでもなく、いきなり走り回って遊び始めたこと。入り組んだ路地のようで、楽しかったのでしょう。

キシラデコールシリーズ

安心の住空間づくりに  
内装専用水性ステイン

美しさと、耐久性に優れた  
内外装専用水性ペイント

**XYLADECOR Consolan**

インテリア

【お問い合わせ先】

製造販売

日本エンバイロケミカルズ株式会社

〒105-0023 東京都港区芝浦一丁目2番1号

大阪 〒541-0051 大阪市中央区備後町1丁目6番14号 アーノックス備後町ビル TEL. 06-6268-3428 FAX. 06-6268-3420

東京 〒105-0023 東京都港区芝浦一丁目2番1号 シーパンスN館9階 TEL. 03-5444-9872 FAX. 03-5444-9862

www.jechem.co.jp